

■中村輝夫 陸軍軍人。台湾出身の元日本兵で、30年間敗戦を知らずに、モロタイ島の密林で祖国を思い続けた。

なかむらてるお

べル村条約・1919＝ 日本統治時代の台湾の都歴村で、先住民の子に生まれ、民族名はスニヨンとつけられる。

原敬首相暗殺1921＝ 2歳：

日本人や漢民族対象でない都歴蕃童教育所に入れられて後、

共産党事件・1928＝ 9歳：

徹底した皇民化教育を受けて育ち、“大和魂”を抱くに至る。

満州事変・・・1931＝12歳：

日中戦争始・1937＝18歳：

日米開戦・・・1941＝22歳：結婚し、

・・・1942＝23歳：長男が誕生するも、*台湾で始まった陸軍特別志願兵制度に真っ先に応募し、

創価学会検挙1943＝24歳：村をあげての見送りのなか、妻子を残して出征。ジャングルで内地出身日本兵が苦戦するなか、高砂義勇兵が驚くほどの力を発揮し、戦局が激変して風雲急を告げているのも知らされずに、

年金+総武装 1944＝25歳：モロタイ島へ渡り、現地女性との淡い恋も束の間、*米軍上陸とともに、行方不明となる。

敗戦・・・1945＝26歳：

新憲法公布・1946＝27歳：

モロタイ島住民からは、日本人の英雄とされ、唯一接触のあった村民が物資を届ける度に戦争終結を説得するも信じず、出て行ったら米軍に殺されると居場所を秘密にするように命じたため、

独立回復・・・1951＝32歳：

55年体制始・1955＝36歳：

安保闘争・・・1960＝41歳：

この間、日本人精神を全く失わず、そのまま20年が立ち、

東京リビア 1964＝45歳：

大学紛争始・1965＝46歳：その村民が死ぬ直前に息子に秘密を伝え、

息子が友人に秘密を話したため、噂が広まり、

日中国交回復1972＝53歳：この年、グアム島で元陸軍軍曹の横井庄一が発見され、

石油ショック1973＝54歳：

角栄金脈辞任1974＝55歳：ルバング島で元陸軍少尉の小野田寛郎が発見されてまもなく、*インドネシア軍によって発見される。日本へ帰りたいと言うも、既に敗戦で国籍が喪失していた上、中国との国交回復に障害とされて、

クランブル事件1975＝56歳：行方不明者李光輝となっていた故郷台湾へ戻り、健康そのもので驚かれ、かつての妻と31年ぶりに再会するが、既に夫が戦死と20年前に再婚していたため、怒り心頭寝込んでしまう。結局再婚後の夫黄金木が身を引く形で、元妻が戻ってきてくれ、カンパによって大金を手にしたが、現実の社会に溶け込めないまま、

革新大敗北・1979＝60歳：*荒れた生活を送ったため、身体を損なって没した。